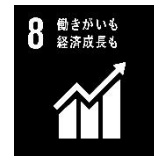


地域連携型医療関連ビジネス創出支援事業成果報告

株式会社有明の内視鏡光源装置用カバー 製品開発を支援しました



ターゲット 3.3



ターゲット 8.3

令和4年9月14日

郡山市産業観光部

産業創出課

課長心得 横堀 孝尚

TEL: 924-2271

SDGs ターゲット 3.3 「伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。」

SDGs ターゲット 8.3 「中小零細企業の設立や成長を奨励する」

本市と市内産業支援機関が連携し、株式会社有明（市内大河原）による感染対策に対応した内視鏡光源装置用カバーの製品開発を支援しました。

1 内視鏡光源装置用カバーの概要

内視鏡検査室では、内視鏡器具等を介した感染を防止する対策を講じる必要があるため、内視鏡光源装置を1患者毎にクロスで拭取る、ポリ袋で被せる等の対応がなされています。

株式会社有明は、医療従事者へのヒアリングを通じ、消毒液に含まれる水分で内視鏡光源装置が故障してしまうケースや、消毒作業に要する医療従事者の業務負担等が医療現場の課題となっていることを把握しました。

今回、医療現場の課題を解決するため、内視鏡光源装置（オリンパス社製 CV-290、CLV-290SL 対応）に装着するディスプレイ（使い捨て）の体液等付着防止カバーを開発しました。



【製品写真①】



【製品写真②】

2 産業支援機関（※）と連携した開発支援内容

（1）ユーザビリティ評価支援 -医療現場とものづくり企業をつなぐ-

- ・試作した内視鏡光源装置用カバーの医療現場での有効性や効率性を確認するため、ふくしま医療機器開発支援センターが橋渡し役を担い、総合南東北病院消化器センターの濱田晃市先生にユーザビリティ評価を実施いただきました。



【ユーザビリティ評価の様子】

（2）知的財産活用支援

- ・福島県発明協会（知財総合支援窓口）と連携し、知的財産（意匠権及び商標権）の出願をサポートしました。株式会社有明において、知的財産の活用は初めての取り組みとなります。
- ・知的財産を活用することで、模倣品の排除や他者へのけん制に加え、ステークホルダーに対する信頼性の向上やビジネス機会の拡大等の効果が期待できます。

※産業支援機関：地域の産業振興に関する業務を担う財団等の公的支援機関



3 今後の展開

株式会社有明は、令和4年9月に内視鏡光源装置用カバーの意匠権及び商標権を出願し、医療関連製品として製造販売することとなりました。今後は本製品の拡販に向け、全国の医療機関や商社へ積極的に展開していきます。

引き続き、本市は関係機関と連携し、市内企業による医療関連製品の開発を支援していきます。

4 報道発表会の開催

(1) 日 時 令和4年9月27日(火) 15時から15時半まで

(2) 場 所 ふくしま医療機器開発支援センター
(郡山市富田町字満水田 27-8)

(3) その他 模擬手術室に整備している内視鏡光源装置の実機を用いて、製品紹介及び装着デモを行います。また、ユーザビリティ評価でご支援いただいた総合南東北病院消化器センターの濱田晃市先生も同席されます。取材いただける場合、産業創出課へ事前にご連絡ください。

<内視鏡光源装置用カバーに関するお問い合わせ先>

会社名：株式会社有明

所在地：郡山市大河原 169 番 5

資本金：1,000 万円

代表者：代表取締役社長 内田 善啓

事業：ポリエチレンの加工及び包装資材の販売

連絡先：TEL 024-941-3000/FAX 024-941-3016

Email host-info@ariakeweb.co.jp

会社 HP：<https://ariakeweb.co.jp>

